



七ヶ浜町 x 東北大学 オンライン・防災シンポジウム 2020 を開催しました

(2020/9/24)

テーマ：自治体とのシンポジウム

場 所：オンライン

URL：<http://dsmca.irides.tohoku.ac.jp/archives/584>

9月24日(木)、オンラインにて「七ヶ浜町 x 東北大学 オンライン・防災シンポジウム 2020」が開催されました(主催：指定国立大学 災害科学 世界トップレベル研究拠点)。

昨年、学際研究の推進と社会貢献の意義・役割を展開するために同町でワークショップを開催し、東日本大震災の教訓と伝承、復興と地域づくり、今後の災害に備えて、について情報・意見交換を行いました。今年は、合同でのシンポジウムの開催を企画いたしました。本拠点からは以下に記載する、実践防災学研究領域、災害理学研究領域、災害医学研究領域、災害人文学研究領域から5名の教員が参加し、話題提供を行いました。宮城豊彦先生(東北学院大学・名誉教授)をモデレーターに、今後の大学と行政の連携についてパネルディスカッションを行いました。話題提供の演題は下記の通りです。

今後も当研究拠点では各種学会、シンポジウム等を通して、多くの研究成果を国内外に発信して参ります。

「東日本大震災の経験と今後の地震・津波のリスク」

今村 文彦(災害科学 世界トップレベル研究拠点・拠点長 [実践防災学研究領域])

「七ヶ浜における夏の気象観測」

岩崎 俊樹(東北大学 理学研究科・特任教授 [災害理学研究領域])

「東日本大震災からの心の復興 ～七ヶ浜町と共に歩んだ10年を振り返って～」

富田 博秋(東北大学 医学研究科・教授 [災害医学研究領域])

「文化遺産マップの作成と災害時の活用 ―七ヶ浜町の文化財を事例に―」

蝦名 裕一(東北大学 災害科学国際研究所・准教授 [災害人文学研究領域])

文責：門廻充侍(実践防災学研究領域)



今村文彦 教授（事前収録・話題提供）



岩崎俊樹 教授（話題提供・パネリスト）



富田博秋 教授（話題提供・パネリスト）



蝦名裕一 准教授（話題提供・パネリスト）



サッパシー・アナワット 准教授
（パネリスト）

以上